



町方伊報

発行所
伊方町
愛媛県西予郡伊方町後浦
〒796-03 伊方局38-0211
印刷所
豊田社
八幡浜市松柏 22-0144

明けましておめでとうございます。町内の皆様をはじめ、遠く町外でご活躍の皆様もご家族おそろい、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年、町政に対し格別のご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございました。心からお礼申し上げます。おかげをもちまして、皆様のご協力のもと、町づくりの基礎



豊かで住みよい町づくり

町長 福田直吉

となる道路網や上水道、農漁業の基盤整備などの諸事業も順調に進んでおります。特に昨年は、本町にとりまして新たな出発をした年といえる事業が三つありました。その一つは、ソフトソーイング計画のスタートであります。手始めとしてパソコン教室と情報処理技術者養成講座を開講しました。この計画は、本町のような情報素地のない地域に若者の定住化を図

明けましておめでとうございます。町民の皆様にはご家族おそろいで昭和六十二年の新春を迎えられたことと存じます。新しい年が皆様にとって限りない幸せに満ちた年であるため、ソフトウェア技術の種をまき、育てて行くこととするので、数年後には町内にソフト企業の設立をしたいと考えています。二つ目は、新国道の開通と関連道の整備です。三月と十月に九町以西の二区間が次々と開通し、町内部分はすべて開通いたしました。これらの道路の果たす役割は計り知れないものがあるかと存じます。

三つ目は三号機の本格工事着工であります。この着工で、電源立地促進交付金事業も開始いたしました。初年度は水道整備などを行いました。七年度で約三十八億円の事業費が交付されます。三号機建設は、本町及び近隣町に大きな経済効果をもたらします。が、わたしは町政担当の基本姿勢を「和」の精神による町民各層の融和と協調によるものとし、こうした原子力発電所立地町としての

メリットを積極的に、しかも有効に活用して一、町民経済を豊かにし「活力ある町づくり」二、都市的利便性と農村的自然環境をかね備えた「定住できる町づくり」三、教育文化的な魅力を備え青少年をひきつける「希望あふれる町づくり」の三つの基本政策を柱に、豊かで住みよい、町民福祉の行き届いた町づくりに努めます。二十一世紀にかける「ふる里伊方町」の発展のため、今年度は水資源対策や港湾整備などの継続事業に加え、ニューメディアコミュニケーション対策として有線テレビの導入、町民グラウンドの新設を具体化させたいと思っております。町政を担当させていただいて八年。皆さんとともに育んできた町づくりの大樹を、より大きく育てるために全力を傾注する覚悟です。

このすがすがしい新春にあたり、皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げますとともに、より一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。者の定住化を期さなければなりません。そのことが町の活性化につながる要因ともなるものでありまして、二十一世紀を展望した町づくりこそ、現下の私共課せられた使命であると存じております。近年、急激に露呈した円高ドル安は国内経済構造に大きな変革をもたらし、国の行財政改革とも相俟って地方財政の現実には厳しいものがあります。私共議会は、このような情勢下のもと、さらに一層町民の皆様への負託にこたえていかねばならないと認識を新たにいたしました。どうか議会活動に多大なるご理解をいただき、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。

議会活動に理解と協力を



議長 福田弘

りますよう心から祈念いたします。旧年中は議会に対しまして格別のご協力とご支援をいただき、まことにありがとうございます。昨年、かねてより多年の念願でありました国道一九七号線バイ

本年は又、引き続き南予用水受け入れに伴う畑地灌漑事業の推進や上水道の整備など懸案の諸事業がございますし、昨年から発足をしておりますソフトソーイング計画のより一層の推進も図って、若

謹んで新春のお祝詞を申し上げます

委員・職員一同

- | | |
|--------------------|------------|
| 町長 福田直吉 | 区長 大浜堀内喜一 |
| 助役 山口和哉 | 中之浜 門田寛治郎 |
| 収入役 西田恵明 | 河内 松下作馬 |
| 総務課長 榊田信夫 | 仁田之浜 米沢達広 |
| 財務課長 阿部喜光 | 湊浦一 中田菊美 |
| 住民課長 市尾隆志 | 湊浦二 村田和助 |
| 福祉環境課長 大森次郎 | 小中浦 泉昇一 |
| 産業建設課長 松田勝彦 | 伊方越 辻利安 |
| 政策局長 榊田佳明 | 亀浦 宮本一弘 |
| 副収入役 菊池和彦 | 中浦 堀上正博 |
| 町見支所長 二宮 一 | 川水田 一 桜谷辰吉 |
| 水道課長 鎌土勝利 | 川水田二 井上次満 |
| 農業委員会事務局長 兵頭 定 | 豊浦 宮本正人 |
| 職員一同 | 奥 渡辺由勝 |
| 【教育委員会】 | 須賀 堀内一郎 |
| 委員長 栗田龍彦 | 久保 田中治之 |
| 教育長 阿部嘉明 | 須賀 高野富士夫 |
| 教育次長兼義務教育課長 山下和彦 | 二見 道上 勤 |
| 中央公民館長兼社会教育課長 岡元幸雄 | 加周 林 鍛 |
| 給食センター所長 松田忠一 | 田之浦 井上邦久 |
| | 古屋敷 大山則行 |
| | 大津 成小島 初 |
| | 鳥津 山田 亀好 |

謹賀新年

【町議会議員】

- | | |
|-------|--------|
| (議席順) | 黒田 殷栄 |
| 高野 遠 | 竹場 淳 |
| 辻 忠義 | 小泉 久 |
| 梶田 忠義 | 安部 安 |
| 重岡 雅樹 | 丸山 栄一 |
| 井上 鶴敏 | 吉川 治吉 |
| 福田 弘 | 田中 康司 |
| 松本 龍明 | 浜本 浩 |
| 竹内 藤雄 | 高月 初彦 |
| 菊池 伝治 | 田中 発 |
| | 議会事務局長 |

磯野さんらに町長賞

人権作品で小中学生表彰

町人権擁護推進協議会が募集した「人権作品」の表彰式が、12月6日町民会館で行われ、磯野貴子さん(水ヶ浦小)ら142人が表彰されました。「人権作品」は、毎年町内の小中学生から募集しているもので、今回は作文や標語などに422点の応募がありました。上位入賞された皆さんは次のとおりです。

また、少年の主張発表も行われ、最優秀には古田加代さん(町見中)が選ばれました。

【町長賞】

作文／古田加代(町見中)
 標語／磯野貴子(水ヶ浦小)
 ポスター／山岡あきこ(二見小)・山崎美代(豊之浦小)・松本和彦(二見小)・渡辺健二(伊方中)
 書道／田中亜希子(水ヶ浦小)
 書道(硬筆の部)／伊藤 薫(伊方小)

【町人権擁護推進協議会長賞】

作文／西川悦生(伊方中)
 標語／三根生 聡(九町小)
 ポスター／門田智代(有寿米小)・川田政史(二見小)・井上喜美香(豊之浦小)・得能珠美(町見中)
 書道／矢野吉章(水ヶ浦小)
 書道(硬筆の部)／西野裕子(伊方小)

【人権擁護委員伊方部会長賞】

作文／中村幸代(町見中)
 標語／谷口温子(豊之浦小)
 ポスター／横田高明(伊方小)・川村祐史(伊方小)・石上早苗(九町小)・佐竹真弥(伊方中)
 書道／朝井加奈美(伊方小)
 書道(硬筆の部)／坪内隆典(九町小)

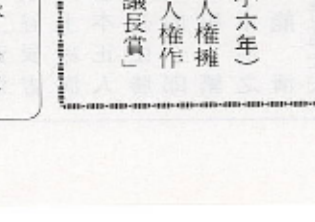
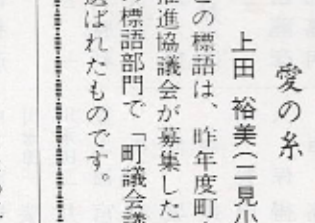
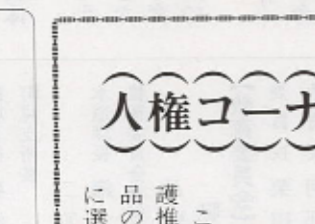
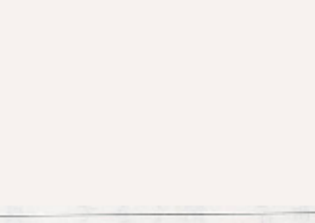
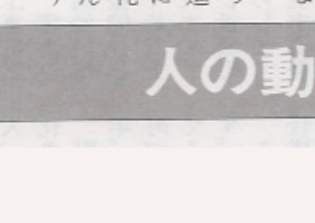
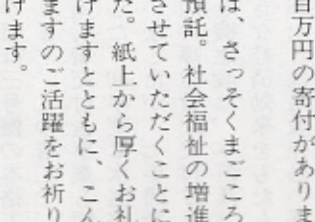
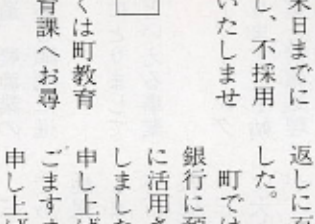
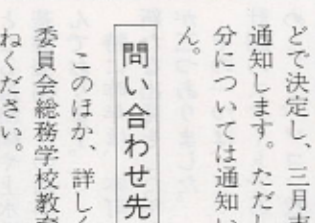
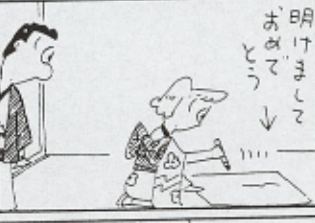
【教育委員長賞】

作文／波内知津(伊方中)
 標語／古田英二(二見小)
 ポスター／崎野有希(有寿米小)・井田志乃(九町小)・宮本 香(有寿米小)・神山清恵(町見中)
 書道／丸山しのぶ(伊方小)
 書道(硬筆の部)／渡辺洋平(伊方小)

【町議会議員賞】

作文／渡辺 綾(町見中)
 標語／成本英嗣(二見小)
 ポスター／品川重紀(伊方小)・川口英俊(二見小)・谷口リエ(水ヶ浦小)・亀井幸一(伊方中)
 書道／谷藤文章(水ヶ浦小)
 書道(硬筆の部)／菊池之成(伊方小)

さわやか 西村 宗 君



町の奨学金制度

希望者は1月末日までに

町教育委員会では、昭和六十二年度の「奨学生」を募集しています。奨学金の貸付を希望されますかたは来月一月末までに、次の要領で申し込んでください。

資格
 ○学校教育法に規定する高等学校(盲学校・ろう学校・養護学校の高等部を含む)、高等専門学校、大学及び県立農業大学校に来年四月に入学(新一年生)する人

貸与月額
 高等学校……………一万円
 高等専門学校……………一万五千元
 県立農業大学校……………一万円
 大学……………二万円

返還方法
 貸付金は無利子。貸付が終了して六カ月が経過した後、貸付期間に応じて十五年以内に返還してください。

手続き方法
 町教育委員会が定める「町奨学生願書」に必要な事項を記入して、直前に卒業または在学している学校の推薦書を添えて提出してください。

提出期限
 昭和六十二年一月末日

採用候補者の決定
 採用候補者は選考委員会などで決定し、三月末日までに通知します。ただし、不採用分については通知いたしません。

問い合わせ先
 このほか、詳しくは町教育委員会総務学校教育課へお尋ねください。

町内の交通事故

12月20日現在	発生件数……………57件
	(12月……………1件)
	負傷者数……………23人
	(12月……………0人)

新国道の整備が進むにつれ、スピード違反の車両が目立ちます。八幡浜警察署では年末年始の事故防止に備え、悪質車両の取り締まりに重点を置くことにしています。

また、九町から瀬戸町境にかけての区間は、標高も高く濃霧が発生することがあります。ご注意ください。

伊方・町見駐在所

古田さんから 香典返しに100万円

大阪市住吉区帝塚山東二丁目一三ー一在住でフルタ製菓を営まれている古田乙彦さん(加周出身)から、先ごろ亡くなられた御母さまの香典返しに百万円の寄付がありました。

町では、さつきまごころ銀行に預託。社会福祉の増進に活用させていただくことにしました。紙上から厚くお礼申し上げますとともに、こんごますますのご活躍をお祈り申し上げます。

人の動き

昭和61年12月1日現在
 世帯数2,656戸(+5戸)

8,626人 {男4,209人(+10人)}
 人 □ (+13人) {女4,417人(+3人)}

こちら編集室

今年(卯年)は古くから童話や昔話の中によく登場し、身近な動物として親しまれていました。イメージはさまざまですが、ウサギにあやかって、ビヨンビヨンとスムーズに進みたいものです。

一月号はカラー印刷

人権コーナー

人権は みんなを結ぶ 愛の糸

上田 裕美(二見小六年)

この標語は、昨年度町人権擁護推進協議会が募集した人権作品の標語部門で「町議会議員賞」に選ばれたものです。

お誕生おめでとう

よい子に育ってください

昭和61年11月1日
 11月30日

おくやみ

昭和61年11月1日
 11月30日